



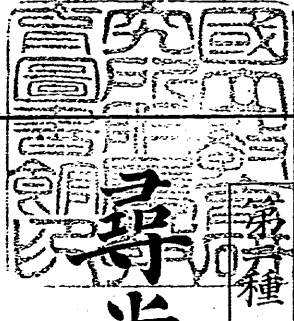
第二種
尋常小學書方手本第四學年用下甲種

K130.721
2.1
4下b

K130.721

2.1

4下b



第四學年用下甲種

常小學書方手本

文 部 省

天皇陛下勅使。

第三甲下

皇大神宮參拜。

第三甲下

流早く水清し。

三

第三卷下

神苑板垣御門。

四

第三卷下

我等は人と生れ來て一
たん心定めては事に動
かずさそはれずはげみ

五

第三甲下

進むに何事のなご成ら
ざらん鐵石のかたきも
つひにとほすべし。

六

第三甲下

役場村長巡查。

第尋甲下

職業苦樂幸運。

第尋甲下

召使招待正直。

九

篆書甲下

忠實節儉活動。

十

篆書甲下

每週夜晝朝起。

十一

第百四十一

田畑財產損得。

十二

南ノ口ヨリ入ラントスレバ其ノ戸ハタ
ト閉ヅ。オトロキテ西ノ口ヨリ入ラン
トスレバ其ノ戸マタハタト閉ヂテ

南ノ戸開キタリ。北へマハレバ西ノ戸
開キ東へマハレバ北ノ戸開ク。幾度カ
マハリタレドモ入ルユトラ得ズ。

發明製造商品。

十五

第三尋甲下

輸出數百萬圓。

十六

第三尋甲下

昨晚。近火。消防。

十七

第一卷甲下

必死。土藏。無事。

第二卷甲下

十八

一昨夜近火の節は大ぜい様清手
つだひに御出で下さいました上
色々御見まひの品までいたゞさま
してまことに有りかたうございます

十九

第百一十卷

第百一十卷

御かげであぶたの所をたすかり
まして安心しました取出した家
具類の中には多少損じた物も
ありますが丸焼にあつたと思へば

二十

此の上も無い仕合とぞんじます
さつそく御禮に上るはずでござい
ますが近所の後かたづけの手
つだひをいたして居りますので

取りあへず手紙で御禮を申し
上げます

一月十日

阪井元藏

岩瀬總太郎様

通帳仕拂右正

後尋甲下
第拾四下

ニ受取申候也。

藍玉。深。色。紺。地。

二十五

篆字甲十

第尋甲下

淺黃。縞。機。械。織。

二十六

鶴太富造豐松。

二十七

第百四十四
卷下

虎五郎孫平殿。

二十八

陣地進擊。突貫砲彈銃。
丸。雨飛高地。占領敵軍。

退却。負傷戰死。將校軍。
曹兵卒。馬丁無念。面目。

世界都會首府。

三十一

第三十四甲下

美術工藝學問。

三十二

第三十四甲下

肥料種蒔株分。

植替接木刈込。

1130.721-2.1-4下



大正三年十一月廿七日

印刷發行

著作權所有

大正三年十一月廿四日
文部省検査済

發賣所

東京市日本橋區新地
右衛門町十六番地株式會社

國定教科書共同販賣所

第二種尋常小學書
手本第四學年用下甲種

定價金參錢

著者 兼發行所

文部省
日高部秩父

兼發行所

大阪書籍株式會社

印刷所

大阪書籍株式會社

大阪市南區難波菅原町千八百八十八番地ノ九
代表者 三木 佐助

